

変化する省エネ

省エネ、と聞くと「エアコンの設定温度を夏は28℃、冬は20℃にしない」「こまめに電気を消さない」といった我慢や、「昔はこうだったのだから…」といった押し付けをする印象がありました。しかし、近年省エネの在り方が変わってきており、家電を賢く使いながら快適に過ごすという認識が主流になっています。資源エネルギー庁では「省エネの新時代」と題し、基本的な省エネ行動によってどれだけの節電効果があるのか、家計にどれだけの効果を与えるのか具体的に情報公開しています。また、家電の買い替えやZEHの勧めを行うなど、省エネ効率が良いものは積極的に利用するという風潮に変わってきています。

省エネの新時代～「賢く」「快適」に～

近年の暑さ・寒さ事情とスローダウンするエネルギー供給

夏はどんどん暑くなり、冬は例年以上に冷え込む日が増えている近年、気候変動の影響が顕著に表れています。季節毎にエアコンや扇風機、ストーブなどの家電を使って暑さや寒さをしのぎ快適に過ごそうとする一方で、電気代やガス代が上がっているため快適に過ごそうとするほど家計を圧迫する状況になっています。その理由として「①ロシアのウクライナ侵略などの影響により、世界規模でエネルギー安定供給の不確実性が高まっている」「②2022年3月に発生した福島県沖地震等による発電所の停止」「③悪天候による太陽光の出力の大幅な減少に対し、異例の寒さによる電力需要の大幅な増大」が挙げられ、十分なエネルギー供給源が確保できなくなっているのです。

参考：2022年11月1日省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議（経済産業省）

賢く・快適に省エネ

夏冬共通して肝心な対策場所は窓際です。暖気・寒気は窓から73%入り、58%出ていきます。外気からの影響を最も強く受ける場所である窓際の断熱性を高めることで冷暖房設備からの電気代を節約しやすくなります。カーテンの効果的な使用や、冷暖房の置く位置を今一度見直してみましょう。また、思い切った二重窓や複層ガラスにリフォームするのも効果的です。さらに、近年普及しているのが「ダイヤモンド・リスボンス」という節電プログラムです。電気小売事業者の要請に応じたタイミングで、利用者が節電を実施することで、利用者はショッピングなどで活用できるポイントやその他お得な特典をゲットすることが出来ます。時代は「賢く」「快適」に省エネが主流になってきそうです。（学生推進員 八木 新葉）

日常のひとコマ

えひめこどもの城/えひめエコ・ハウスについて

えひめこどもの城の園内には「愛媛県体験型環境学習センター（通称：えひめエコ・ハウス）」があり、主に児童及び親子を対象とした環境講座やイベントなどが行われています。

えひめエコ・ハウス

2003年4月に開館しもうすぐ20周年を迎えます。温暖化防止に関する情報が少ない頃より普及啓発業務を行っており、長年、県民の環境保全意識向上に大きく貢献しています。園内では「昆虫教室」やビオトープ整備などがえひめエコ・ハウスを起点に行われており、来園者が自然に親しむ環境づくりの重要な拠点となっています。



AWA 泡フェスでのエコグッズ配布

2022年8月に行われたAWA泡フェスの参加者に、愛媛県より提供いただいた「冷感タオル」を配布しました。温暖化に対する適応策として、熱中症予防のために使用いただきました。



新エネルギー教室

県内小学校で出前講座を実施中です（2022年度は6校で実施予定）。EV（電気自動車）で学校を訪問し、V2Hや地域産業と新エネルギーの関わりなどを通して理解促進と普及啓発を行っています。



園内の適応対策

園路は1周約2kmあり夏季の熱中症対策が重要となります。ミストファンの追加設置や夜間イベントの充実に取り組むなどの対応を進めています。



最近では、広大な自然を活かしたジップライン設置などの整備を進め、大人も子どもも楽しめる「えひめこどもの城」。全国的にも児童館と環境学習施設が併設されている場所は少ないため、遊びも環境学習も楽しく体験いただける場所として県民の皆様に来園いただけるよう取り組んでまいります。（推進員 濱口英之）

LINE 公式アカウント開設しました！



友だち追加はこちらから♪

ID @008womcy  
URL https://lin.ee/Wwp511Z

イベント情報やECCCA WEB MAGAZINEの更新をいち早くお届け！  
ECCCAの活動情報はホームページやSNSで発信中！



編集後記

2022年は「つなぐ・つながる」を特に意識した1年でした。その想いを汲み取ってくれた学生推進員から、今回はサークル状のイメージが良いのでは!?とのアイデアをいただきました。こうして改めて活動を振り返ると「循環」を意識している活動が多く、センターを介した人や地域のつながりがこれからもっと広がっていくことが楽しみです。（愛媛県地球温暖化防止活動推進センター 山中）



愛媛県地球温暖化防止活動推進センター

Ehime Center for Climate Change Actions

〒790-0063 愛媛県松山市辻町2番31号  
TEL 089-925-2661 E-mail: eccca@e-jyokasou.com



ホームページ



Facebook



Instagram



この印刷製品は、環境に配慮した  
素材と工場で製造されています。



Banana Planet



2050年 脱炭素社会・アクション宣言

公益社団法人愛媛県浄化協会は2050年脱炭素社会・アクション宣言登録事業所です

編集・発行元 / 愛媛県地球温暖化防止活動推進センター（公益社団法人愛媛県浄化協会） 〒790-0063 愛媛県松山市辻町2-31 TEL:089-925-2661 E-mail: eccca@e-jyokasou.com

エコするけん



愛媛県地球温暖化防止活動推進員  
プロジェクト活動



制服循環プロジェクト



歯ブラシ回収プログラム



“生ごみ削減コンポスト・捨てない農業”プロジェクト

愛媛県地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、地域における地球温暖化の現状や温暖化対策に関する知識の普及、対策活動の推進に熱意と識見を持った方々を『愛媛県地球温暖化防止活動推進員』として愛媛県知事が委嘱しています。愛媛県地球温暖化防止活動推進センターでは、2022年度より愛媛県地球温暖化防止活動推進員によるプロジェクト活動のサポートを始めています。脱炭素社会の実現に向けた“賢い選択 COOL CHOICE な行動”につながるよう、推進員の皆さまと連携した活動を行ってまいります。



愛媛県地球温暖化防止キャラクター ストッピー

愛媛県イメージアップキャラクター みきゃん

地域とつながる、ECCCAの取り組み case 01

愛媛県地球温暖化防止活動推進員によるプロジェクト活動始まっています!

制服循環プロジェクト

NPO法人ライフサポートアゴラによる中学生服のリユース活動を、東予地区にて展開するためのサポート活動です。リユース活動がより広がることによるCO<sub>2</sub>の排出削減と子育て世帯への支援を目指しています。

活動内容：制服回収ボックスの設置、制服リユースの認知向上とニーズに関する聞き取り調査(アンケート9,594部)の実施  
回収ボックス設置先：コープえひめ土居店、東予信用金庫寒川支店(他支店も交渉中)



“生ごみ削減コンポスト・捨てない農業”プロジェクト

コンポストシステムを用いた生ごみ削減による、温室効果ガス削減効果の実行と効果検証を行うと共に、愛媛県内の廃棄されていた有機資材等を利活用する活動。生ごみコンポストの実践による温室効果ガスの削減と自然環境に配慮できる人材育成や、芸術等を利活用した子ども目線での“地球温暖化防止広報活動”を実践継続。



活動内容：環境教育出前授業および農漁業関係者・関係機関等との研究開発事業  
実績：宇和島市立清満小学校、同遊子小学校、同城中学校、松山市内学童施設、愛媛県漁協、その他多数

コンポストって? 堆肥・堆肥にする

家庭から出る生ごみなどの有機物を微生物の働きを利用して発酵・分解することで堆肥にすることができます。生ごみを捨てる際の手間やごみ袋の削減、また、ごみ自体の量を減らせることで自治体等のごみにかかる費用の削減や焼却の際に発生する二酸化炭素の排出量を減らすことができます。

プラスチック資源循環促進法について

プラスチックのライフサイクル(製品の設計・製造、販売・提供、排出・分別、回収・リサイクル)といった全体を通して、「選ぶ」「減らす」「リサイクル」に加え、再生素材や再生可能資源(紙・バイオマスプラスチック等)への切り替えにより資源循環を促進していくための法律として、2022年4月1日に施行されました。事業者、消費者、行政といった全ての関係者が連携し合うことが求められています。  
【参考】プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(環境省)

歯ブラシ回収プログラム

2022年4月の「プラスチック資源循環促進法」施行にあわせて、循環意識向上のために使用済み歯ブラシを回収し、リサイクルする活動です。使用済み歯ブラシの焼却を減らすことによるCO<sub>2</sub>の排出削減と、資源として再利用するという意識啓発を目指しています。



活動内容：歯ブラシ回収ボックスの設置、プラスチック資源循環をテーマとする講習会などの実施  
回収ボックス設置先：公共施設、学校、歯科医院など



地域とつながる、ECCCAの取り組み case 06

ECCCA WEB MAGAZINE コラボ企画始動!

サステナブルな想いと情報を未来へ届ける環境Webサイト「ECCCA WEB MAGAZINE」は2022年度より他社と連携した情報発信を行っています。

合同会社EIS

これからの担う若年層をターゲットにした学生世代への意識向上と、愛媛の企業等の事業価値の見える化を図る共創プロジェクト



サステナブル・ブランド・ジャーニー (株式会社YUIDEA)

ゆかりの地から繋がる「人・場所・産品・取り組み」を紹介することで、愛媛と世界をつなぐ場づくり、ひとのつながりを共創するプロジェクト



食品廃棄物から有機堆肥へリジェネラティブ農業と循環型地域づくりの実践



環境都市フライブルク市と松山市のつながり、そこから生まれる未来へ向かう取り組み



2022.10.7開催 アークイブ配信  
【ECCCAxYUIDEA共催 無料セミナー】「無駄にしない」を付加価値にデジタル活用で革新的な事業を行う“ゆるほく”の取り組み  
愛媛で生まれた行動力と忍耐力。15年の時を経て開花したお米の産ブランが解決するいくつもの課題



企業

case 06



愛媛県学生地球温暖化防止活動推進員

“アップサイクル”をテーマに海ごみを使ったアート作品づくりを休日子どもカレッジ(NPO法人ワークライフコラボ)に通う小学生に実施しました。

アップサイクルとは?

廃棄されるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること

四国の学生が集まって学びあう研修「四国エコサミット」に参加し、ゼロ・ウェイスト宣言をしている徳島県上勝町のまちづくりについて学びました。

ゼロ・ウェイストとは?

無駄・ごみ・浪費をなくし、廃棄物自体を減らしていこうという考え方



地域とつながる、ECCCAの取り組み case 02

「2050年脱炭素社会・アクション宣言」サポート研修会を実施しました!

県内事業所を対象に、脱炭素の必要性などを周知することで、脱炭素社会への理解促進や「2050年脱炭素社会・アクション宣言」の実践をサポートする研修会を開催しました。ワークショップ、国や県の施策、県内事業所の取り組み事例について、様々な業種の方が集まって、学びあう機会となりました。

参加者の声

ゲームを通して、普段考えにくい経済、環境、社会について触れることができると感じた。

アクション宣言登録事業所による事例紹介で、社員の方々の工夫が感じられた。

未知の事を知ることができた。また、既知の事にも気づきがあった。

初めての体験で、会社共有させて頂きたいと感じた。

地域とつながる、ECCCAの取り組み case 03

「マイ・SDGs実践促進事業」今年も実施中!

愛媛県の中高生を対象に、若い世代の成長プロセスを形成し、若い力を原動力とした気候変動対策を推進するためのワークショップ『SDGsの視点で考える気候変動～わかっているから貢献できている』を提供しています。(講師：SDGs 新居浜KITE)



受講者募集中!! 環境講座

こんな方におすすめ

- 総合的な探求の時間や環境教育の教材として
- エネルギーの勉強会や企業研修として
- 地域活動等でのイベントや勉強会として

地域とつながる、ECCCAの取り組み case 04

海ごみアートの環境講座を実施しました!



やってみよう!海ごみアート

- 1 海ごみ拾いに参加して、海をきれいにする
- 2 拾ったごみをきれいに洗って乾かす
- 3 接着剤等でコルクボードに貼り付ける(マジックで下書きしてもOK)



地域とつながる、ECCCAの取り組み case 05

上勝町に行ってきました!

あったらいいな!~くるくるショップ~

住民が、まだ使えるがいらなくなったものを持参し、住民と訪問者は自由に持ち帰ることが可能な無料のリユースショップ。オシャレな店内で掘り出し物を見つけられるかもしれないというワクワク感や、住民同士の情報交換としてのつながりにも効果があります。